

## 普天間飛行場の全面返還に伴う嘉手納基地の機能強化に断固反対する宣言

本町議会は、1996年4月18日に、「普天間飛行場の撤去に伴う代替施設の一部機能も嘉手納飛行場への移設を認めない」という嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会（三連協）結成の原点を堅持する立場から、全会一致で意見書を採択した経緯がある。

これまでも、嘉手納基地所属の戦闘機の墜落事故がたびたび発生し、嘉手納基地の過密な実態と危険性は我々町民に大きな不安と恐怖を与えてきた。

普天間飛行場が嘉手納基地に統合される事によって、その危険性はますます増大し、嘉手納基地から派生する各種事故や、爆音に生活を踏みにじられている我々町民に、新たな犠牲を強いるものであると思われる。

特に本町砂辺地域は、日々の爆音に生活を踏みにじられ、この上、ヘリ基地の統合によって、基地機能が更に強化されるような事にでもなれば、これ以上の爆音公害に我慢できるものではない。

本来、県民が強く求めているのは、普天間基地の県内移設ではなく無条件に返還してほしいということである。

本町議会は、三連協が、「普天間飛行場の撤去に伴う代替施設の一部機能も嘉手納飛行場への移設を認めない」と言う結成の原点を堅持する立場から、また、如何なる理由があるにせよ、三連協翼下の住民側からすれば嘉手納基地の機能強化につながる問題は、容認できるものではない。

よって、町民の生命、財産、生活環境を守る立場から以上宣言する。

2003年6月27日  
沖縄県中頭郡北谷町議会